

LE MANS V 24HOURS DUNLOP GAMES 2019

ブリーフィング資料



はじめに

幸田レンタルカート24時間耐久イベントは、規則を守り参加者と応援してくれる方々及びスタッフが一緒になり楽しみ、助け合い精神で24時間先のチェッカーを目指すイベントになります。

『危険行為』『怒らない』『人に危害を加えない』等を守れる方が参加対象になります。

競技参加にあたり、故意でなく正常なレース(ON THE RACE)において発生した死亡、負傷等に対して主催者および他の参加者は一切の賠償責任を負いません。負傷した際は皆様が加入されているスポーツ安全保険が適用されます。

レンタルカート車輛やサーキット施設を破損した場合は、自己負担で修理代金をお支払いしていただきます。

救急車に出動を要請した場合、警察による現場検証が実施されますので競技は中止されることがあります。

競技中、身体に大きな衝撃を受けた場合、そのときは異常なさそうでも後々重大な障害が出てくる場合もありますので、必ず病院にいつて診察を受けてください。休日夜間救急病院等で適切な治療を受けられない可能性もあります。急に体調がおかしいと感じたら、がまんせずチームメイトやサーキットスタッフに相談して下さい。飲酒運転は厳禁です。

サーキットでの走行について

[手を上げよう]

コースINやピットINの時、マシン同士が接触したときは手をあげて合図してください。

[装備や服装など]

- ☆ **長袖、長ズボン**でお願い致します。できればカートスーツ、リブガード、ネックガードも装着してください。うすでのトレーニングウェア、腕抜きでの走行は不可となり、ペナルティの対象となります。
- ☆ フルフェイスヘルメット必着です。ジェット型ヘルメットは使用できません。
- ☆ **夜間走行時は、スモーク、ミラーシールドご使用の方は、クリアシールドの使用を推奨します。**
- ☆ ヘルメットのあご紐を締める。グラブをはめる。シールドを閉める。これらを忘れるとペナルティの対象です。
- ☆ ネクタイや、タオルを首に巻いていませんか？チェーンに巻きつくと重大な事故につながりますので身に着けないでください。髪の毛の長い人は、髪を束ねてヘルメットの中に納めてください。

[走行方法の基本]

- ☆ 速い人はゆっくり走行している人をいたわり、ゆっくり走る人は、道を急いでいる人に気配りして下さい。

[走路外走行]

- ☆ グリーン等を走行してショートカットした時、コースへ復帰する際は、ショートカットをする前の順位より上位の順位で復帰してはいけません。もし、上位の順位で復帰した場合はペナルティの対象になる場合があるので、自分で順位を下げてもとの順位に戻ってください。

[コースアウトやスピンをしたときの注意]

- ☆ コースインして1, 2周目は滑りやすくスピンやコースアウトが多発しますので注意してください。
- ☆ コースに戻る際に、後方から来る車輛と接触しないように安全確認をした後、慎重にコース復帰してください。
- ☆ 安全上止む終えない場合を除き、逆走は禁止いたします。
- ☆ 車輛が走行不可能になったときは、安全を確認してから降車し、ガードレールの後ろ側等の安全な場所に非難してコントロールタワー3Fに向かい両手を振って合図してください。スタッフが助けに行きます。ヘルメットはかぶったままでいてください。

[使用ポストと旗信号]

1コーナー、ショートヘアピン、Aコーナーで旗信号を提示します。その他のポストは灯火信号を表示します。

【黄色表示】

この先に障害がありますスピードを落としてください。表示しているときには追い越し禁止です。

【赤色表示】

レースは中止、速度を落とし、PITへ戻ってください。

【マットと書いた看板】

背中マットが飛び出そうです、バックストレートにて自分で左手を使い押し込んでください。もし、マットがコース上に落ちてしまった場合、マットは石ころと見なし競技は続行します。

[ドライバー交代回数] [ガス補給] [赤旗対応] [SC対応]

別紙参照。

[ペナルティ等]

1. ピットレーンの制限速度は30km/hr未満です。速度超過はペナルティの対象です。
2. 危険行為等に対しペナルティを課す場合は、1コーナーよりペナルティの提示を致します。別紙参照

[順位の決定について]

1. チェッカー優先とします。 ※ガス欠等にてカートを押してのチェッカーは認められません。
チェッカーを受けたチームの中で周回数の多い順に順位を決定します。
ただし、チェッカーは1位のチームに提示されてから3分間の間提示いたします。
2. チェッカーを受けてないチームについて。
順位はチェッカーを受けたチームの後に周回数順に順位を決定いたします。
備考:チェッカーラインは計測ラインとします。

[プッシングカート&トレーラー] プッシングカート&トレーラー(以降PK)の運用手順

1. 自力で動けなくなった車両に対して、PKを導入します。ドライバーはコース右側の安全な位置に車両を移動し、自身も安全な場所へ退避してください。その際、ヘルメットは着用してください。
動けなくなった車両のドライバーはコントロールタワーに向けて手を高く上げて、手を振って助けを求める意思表示をして下さい。
2. PKの導入時は、PKの移動に伴い白旗を提示するポストがあります。PKとトラブル車両を押しているPKの追い越しは可能です。PKには近づかないようにお願いします。